

# 第4章

日常生活圏域別

地域分析



## 第4章 日常生活圏域別分析

### 1 高齢者像の状況について

○5つの高齢者像別出現率をみると、元気高齢者は「北部圏域」「西部圏域」「長島圏域」で高く、「東部圏域」「南部圏域」で低く、「多度圏域」は市平均値と同程度となっています。

○一般高齢者は、「西部圏域」「北部圏域」「南部圏域」で高く、「多度圏域」で低くなっています。

○要援護者をみると、「東部圏域」では介護予防事業対象者、生活支援事業対象者、認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者の全てで市平均値を上回り、「北部圏域」では全てで市平均値を下回っています。

図 4.1 5つの高齢者像別出現率

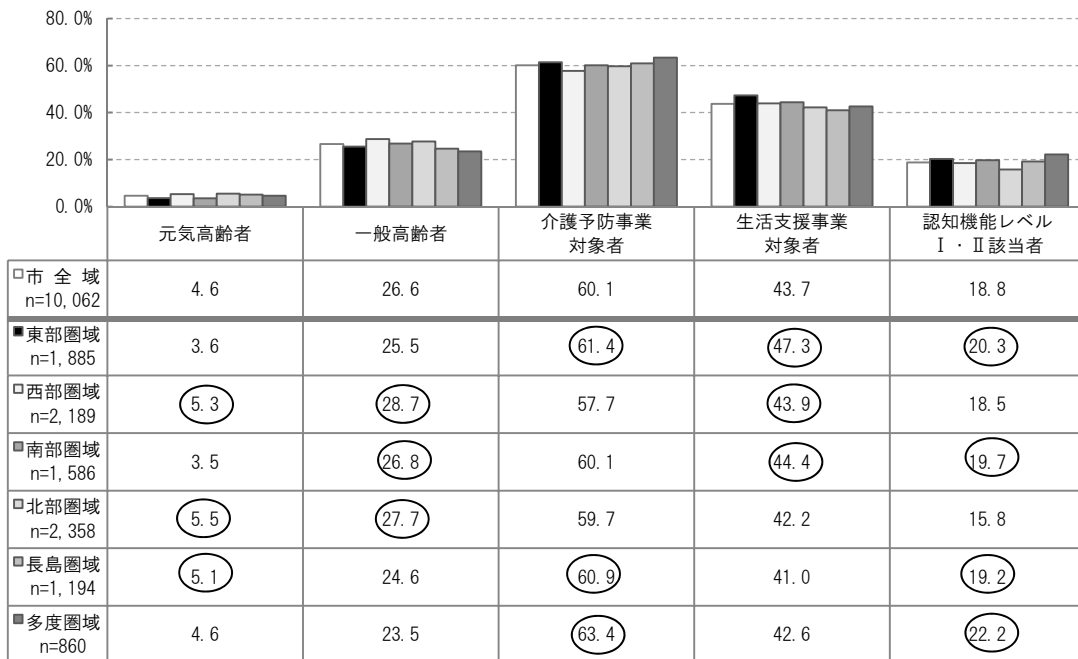
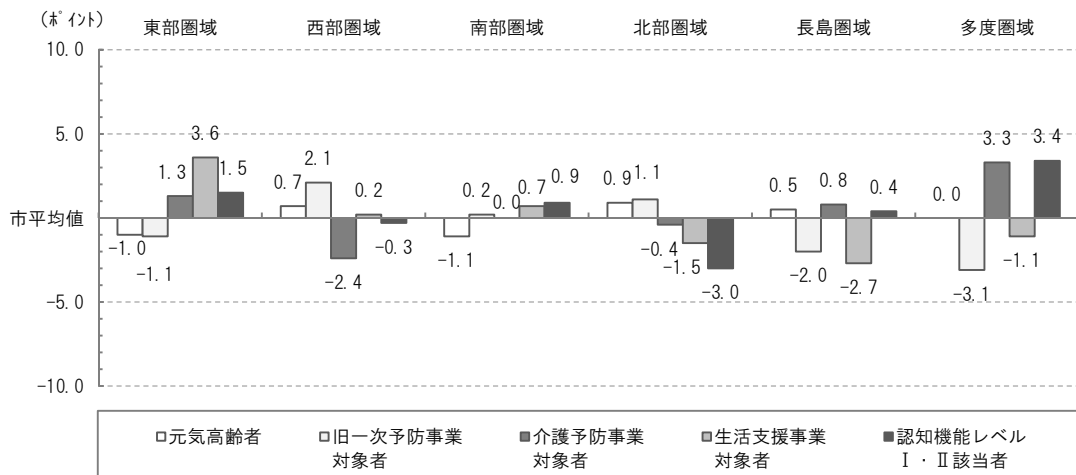


図 4.2 5つの高齢者像別出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

(1) 元気高齢者

○元気高齢者の出現率の地域差をみると、「北部圏域」が最も高く、「南部圏域」が最も低いものの、出現率の地域差（3.5%～5.5%）は2.0ポイントと小さくなっています。

図 4.3 元気高齢者出現率

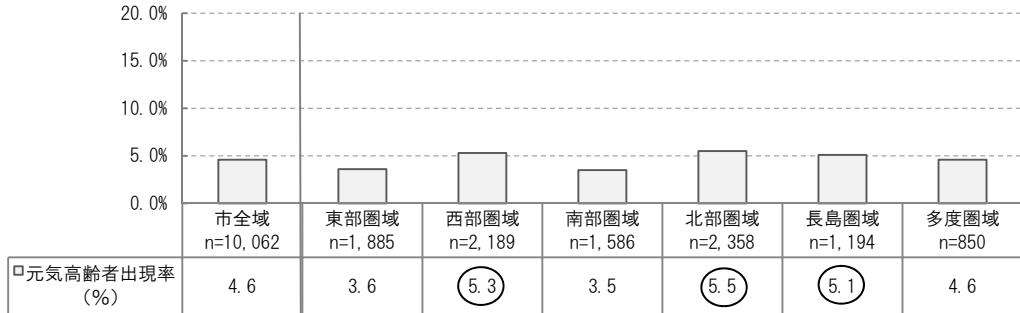
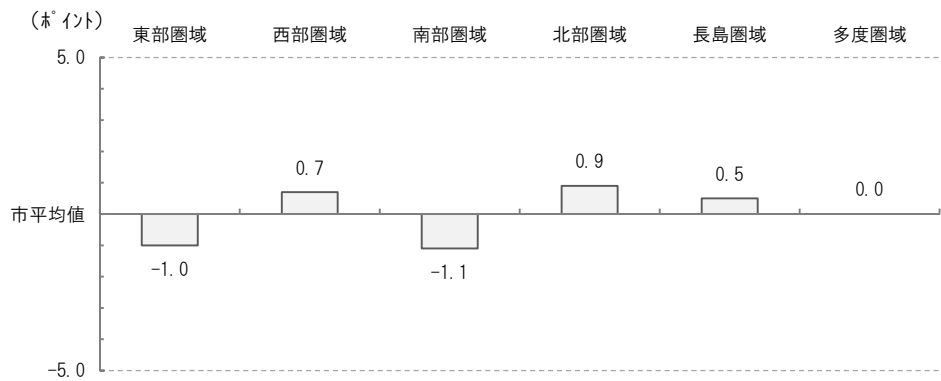


図 4.4 元気高齢者出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

(2) 一般高齢者

○一般高齢者の出現率の地域差をみると、「西部圏域」が最も高く、「多度圏域」が最も低くなっており、出現率の地域差（23.5%～28.7%）は5.2<sup>ポイント</sup>となっています。

図 4.5 一般高齢者出現率

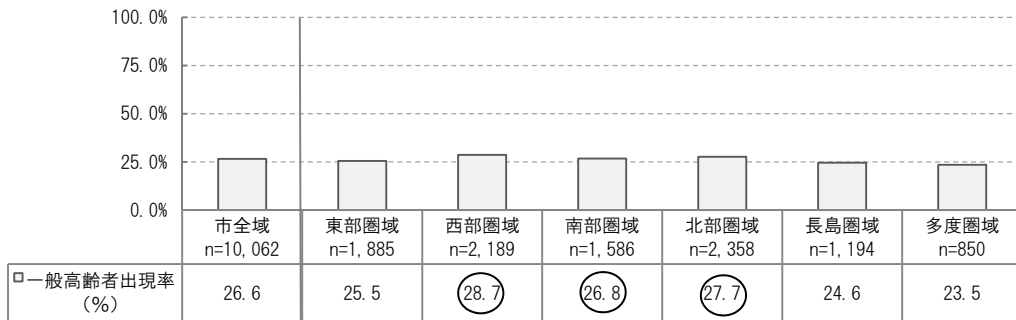
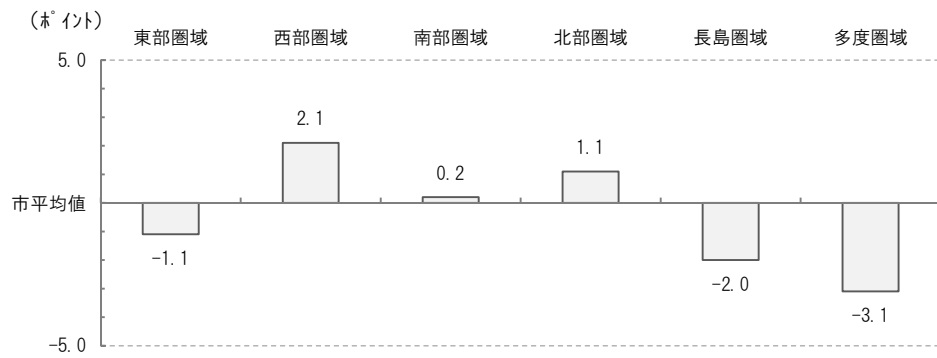


図 4.6 一般高齢者出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

### (3) 介護予防事業対象者

○介護予防事業対象の出現率の地域差をみると、「多度圏域」で最も高く、「西部圏域」で低くなっており、出現率の地域差（57.7%～63.4%）は5.7ポイントとなっています。

図 4.7 介護予防事業対象者出現率

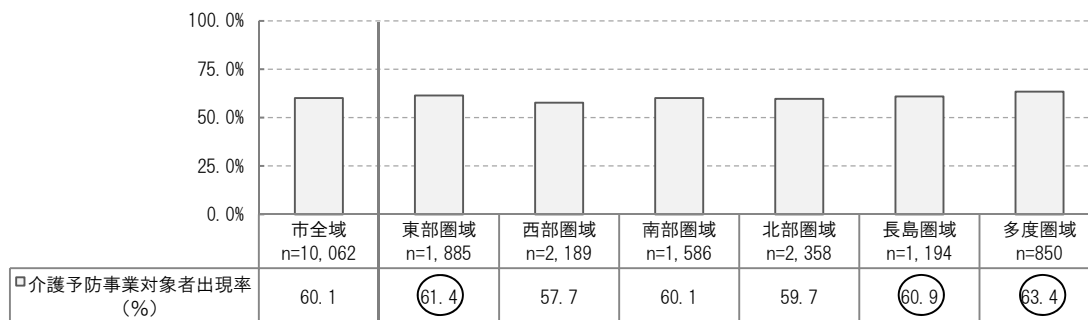
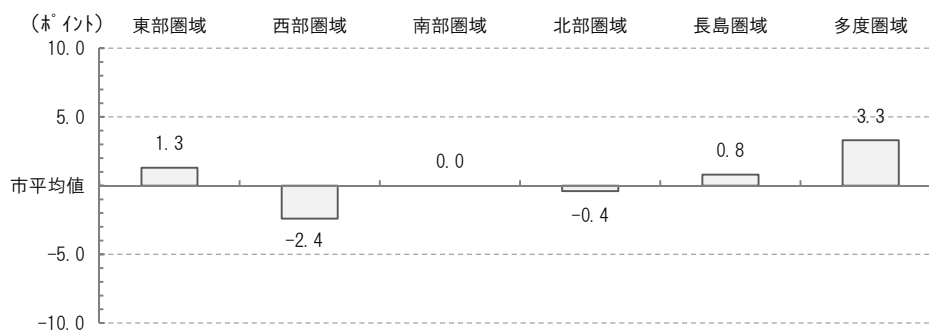


図 4.8 介護予防事業対象者出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

(4) 生活支援事業対象者数

○生活支援事業対象者の出現率の地域差をみると、「東部圏域」が最も高く、「長島圏域」が最も低くなっており、出現率の地域差（41.0%～47.3%）は6.3ポイントとなっています。

図 4.9 生活支援事業対象者出現率

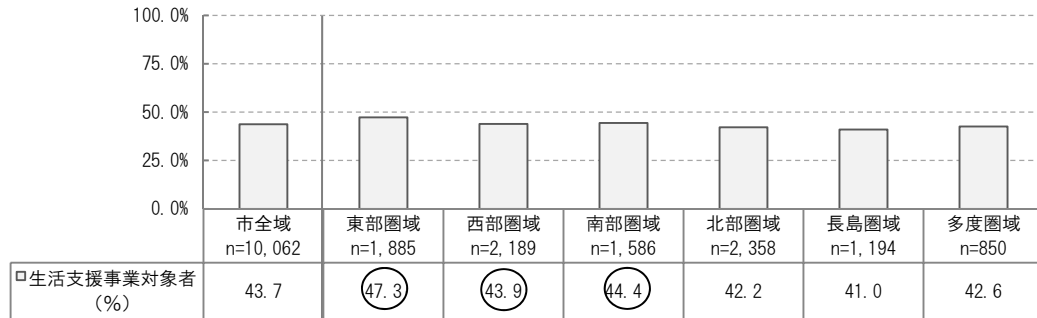
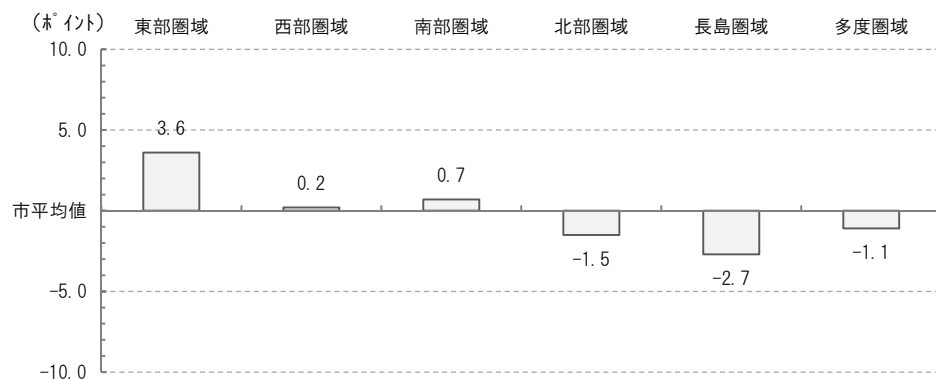


図 4.10 生活支援事業対象者出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

(5) 認知機能レベル I・II 該当者数の予測

○認知機能レベル I・II に該当した高齢者の出現率の地域差をみると、「多度圏域」が最も高く、「北部圏域」が最も低くなっており、出現率の地域差（15.8%～22.2%）は6.4<sup>ポイント</sup>となっています。

図 4.11 認知機能レベル I・II 該当者の出現率

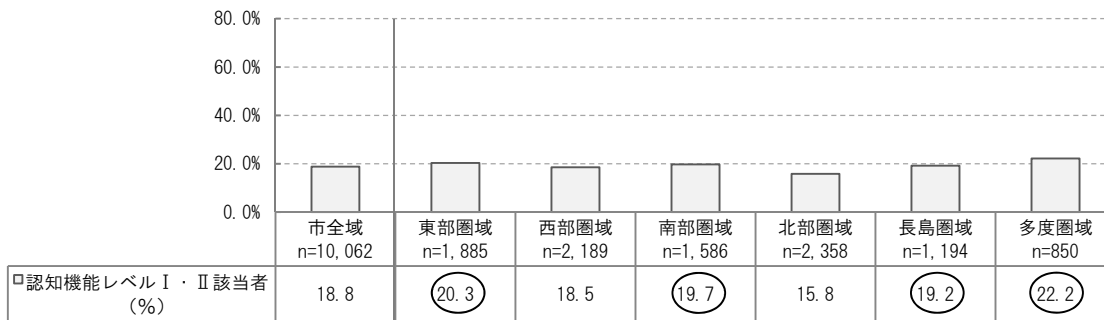
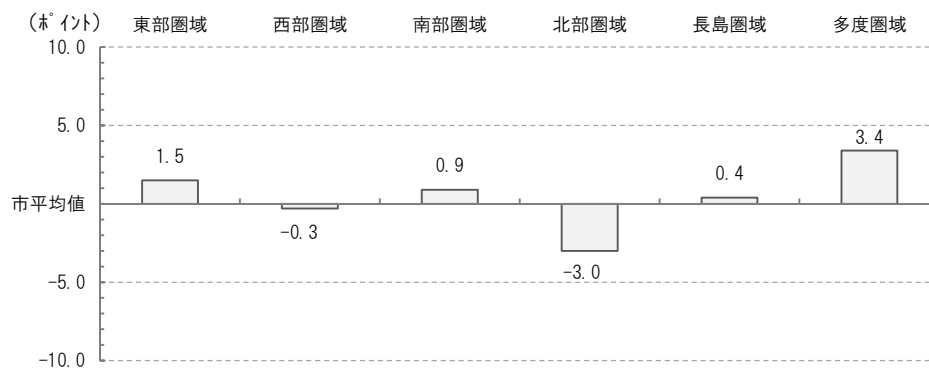


図 4.12 認知機能レベル I・II 該当者出現率の地域差



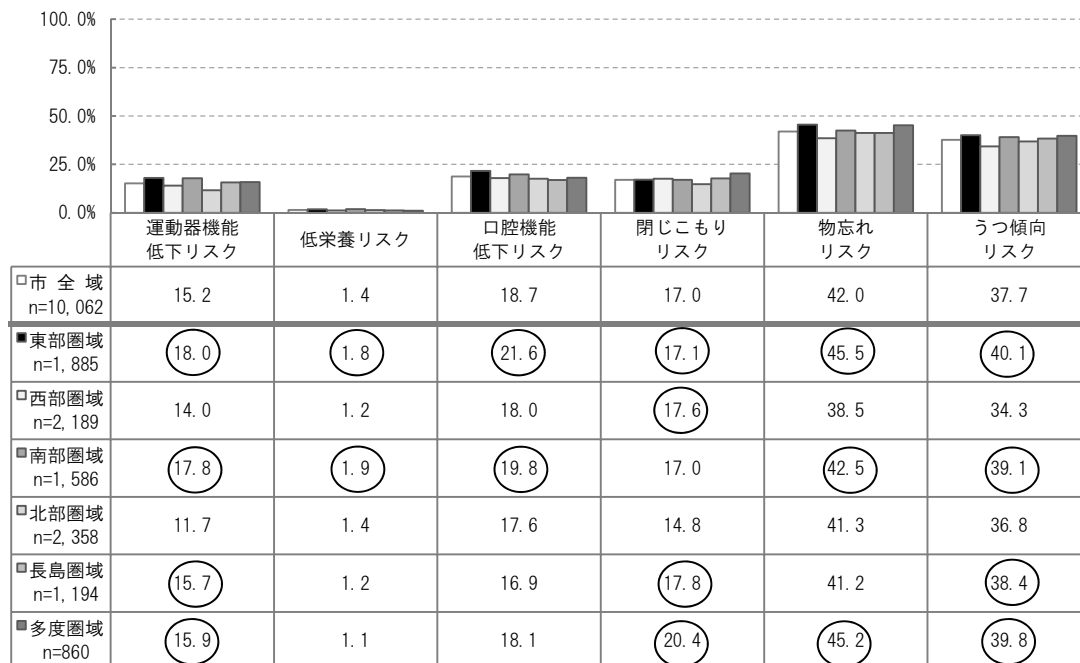
※市全域の出現率を市平均値 (0.0) とします。



## 2 リスク指標（基本チェックリスト）の状況について

○各リスク該当高齢者の出現率をみると、「北部圏域」すべてのリスクにおいて市全域より低くなっています。一方、「東部圏域」では全てのリスクにおいて市全域より高くなっています。

図 4.13 リスクに該当する高齢者の出現率



○出現率の地域差をリスクごとにみると、運動器機能低下リスクでは「東部圏域」が高くなっています。

○低栄養リスクでは、大きな差はありませんでした。

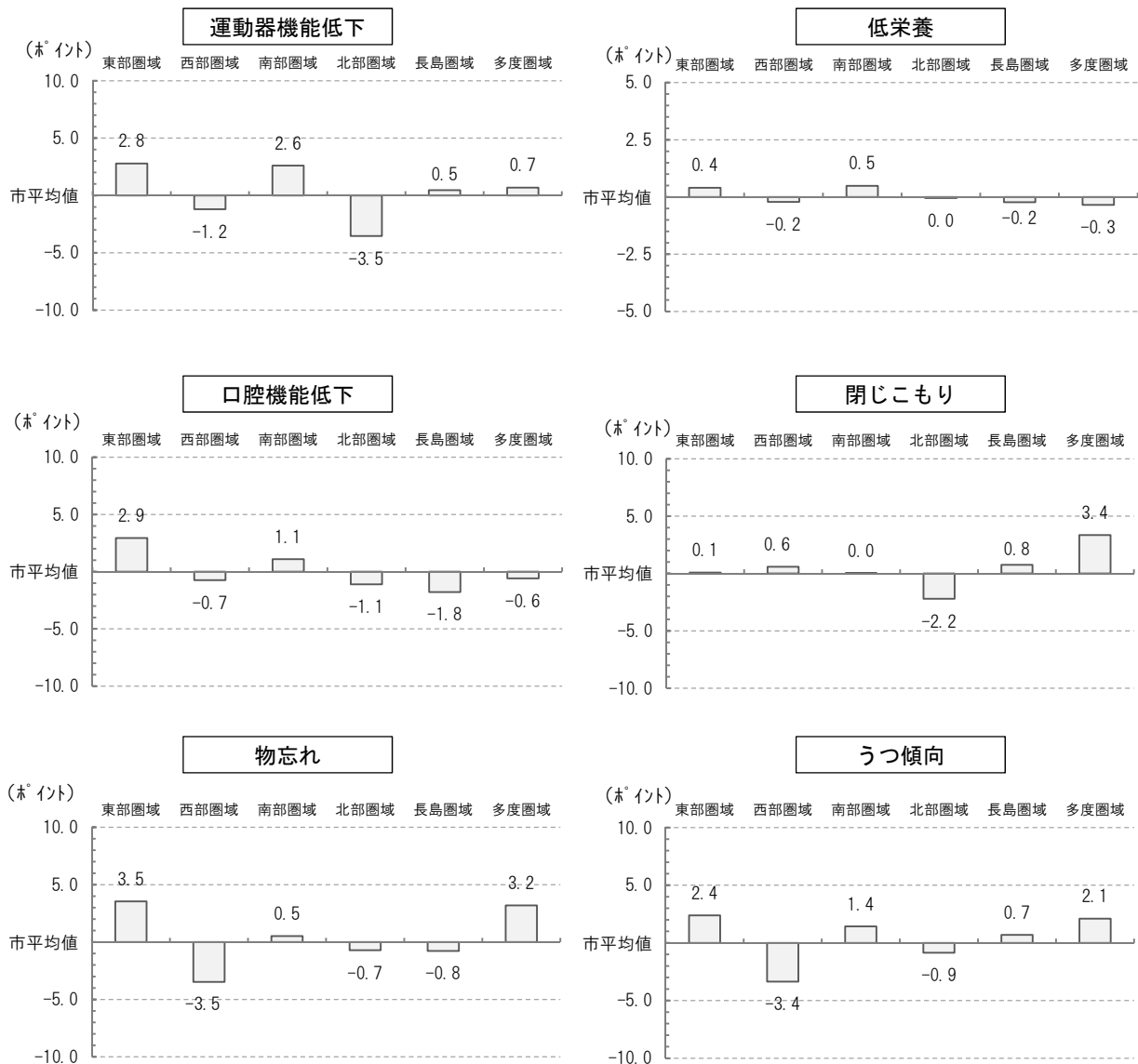
○口腔機能低下リスクでは、「東部圏域」が高くなっています。

○閉じこもりリスクでは、「多度圏域」が高くなっています。

○物忘れリスクでは、「東部圏域」「多度圏域」が高くなっています。

○うつ傾向リスクでは、「東部圏域」「多度圏域」が高くなっています。

図 4.14 リスク出現率の地域差



※市全域の出現率を市平均値（0.0）とします。

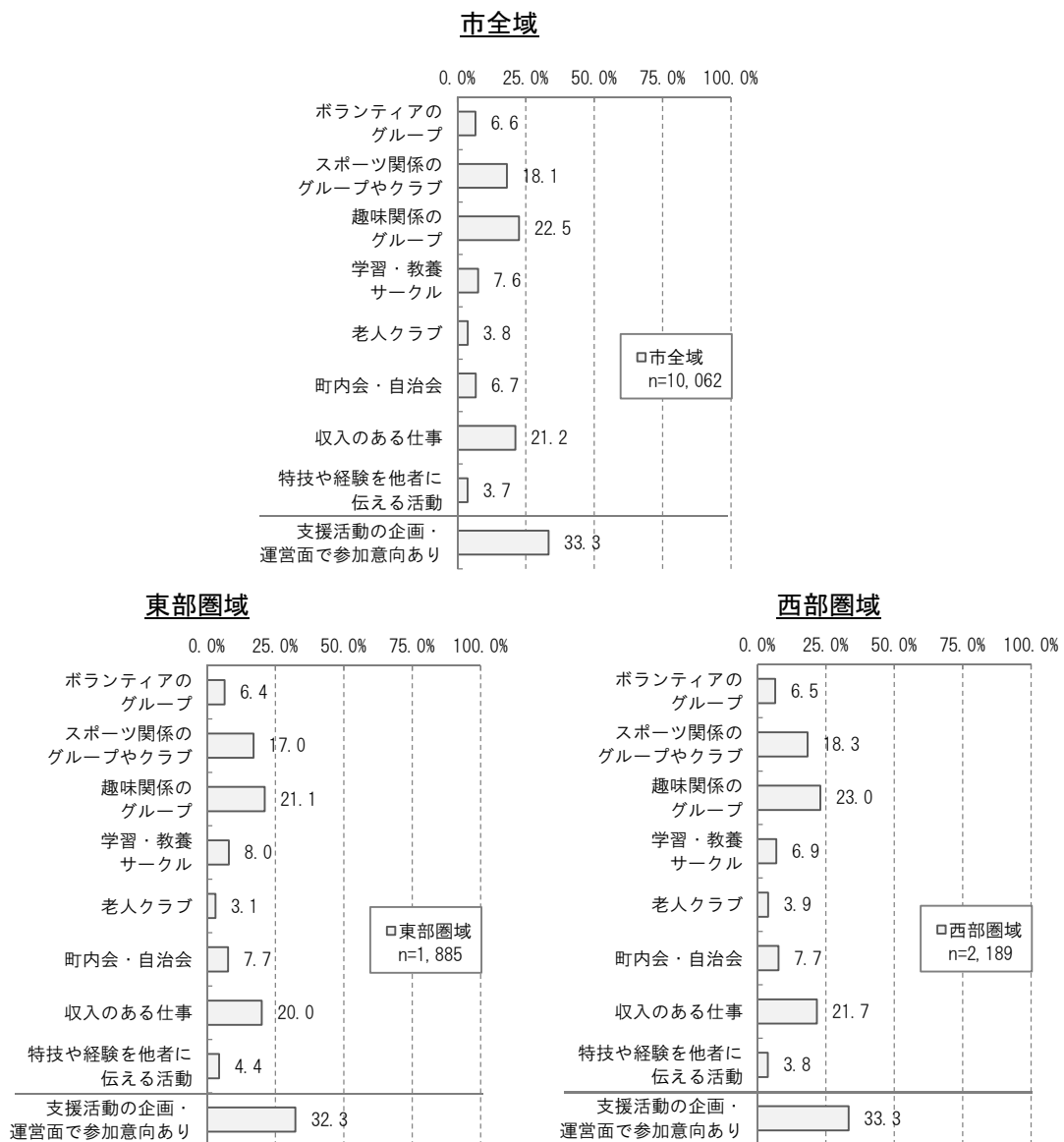
### 3 社会関係指標の状況について

#### (1) 地域活動への参加状況

○地域活動への参加状況をみると、「東部圏域」「西部圏域」「南部圏域」「北部圏域」では「趣味関係のグループ」、「長島圏域」「多度圏域」では「収入のある仕事」の参加割合が最も高くなっています。次いで「東部圏域」「西部圏域」「南部圏域」では「収入のある仕事」、「北部圏域」では「スポーツ関係のグループやクラブ」、「長島圏域」「多度圏域」では「趣味関係のグループ」となっています。

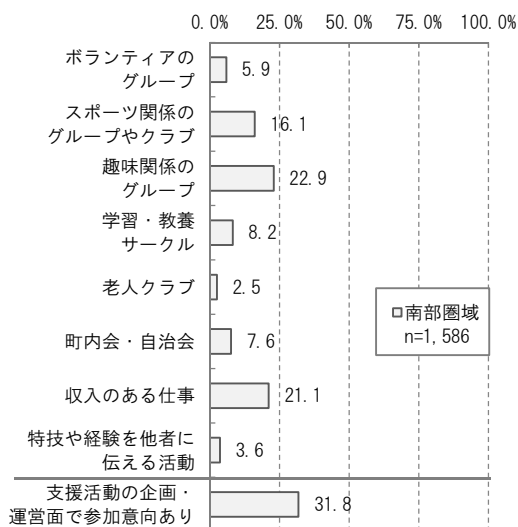
○支援活動の企画・運営面での参加意向をみると、「北部圏域」は市全域を上回り、「東部圏域」「南部圏域」「長島圏域」で市全域を下回っています。参加割合の地域差（35.1%～31.8%）は最大3.3<sup>ポイント</sup>となっています。

図 4.15 高齢者の活動状況と企画運営支援意向

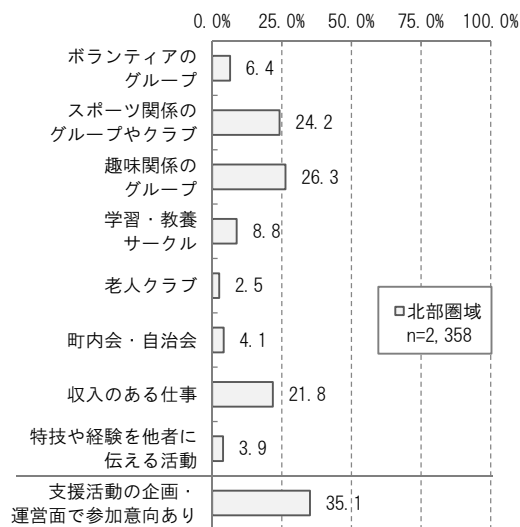


※問5（1）①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会、⑦収入のある仕事で、「週4回以上」～「月1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5（3）支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」に回答した割合です。

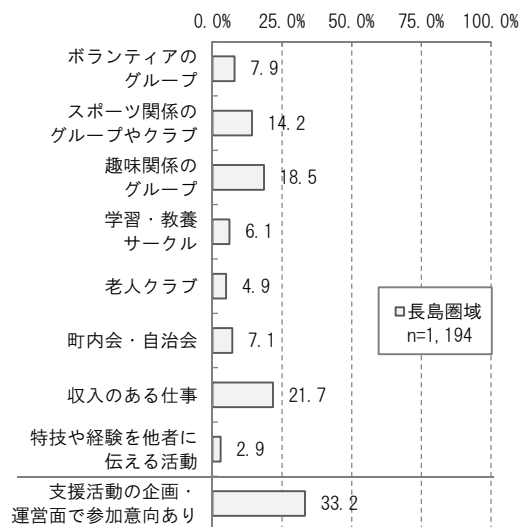
南部圏域



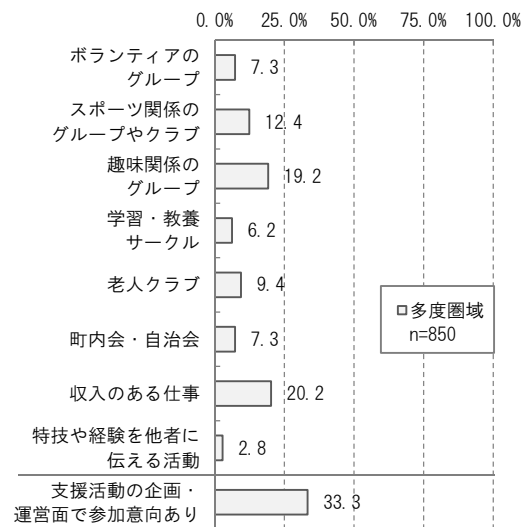
北部圏域



長島圏域



多度圏域



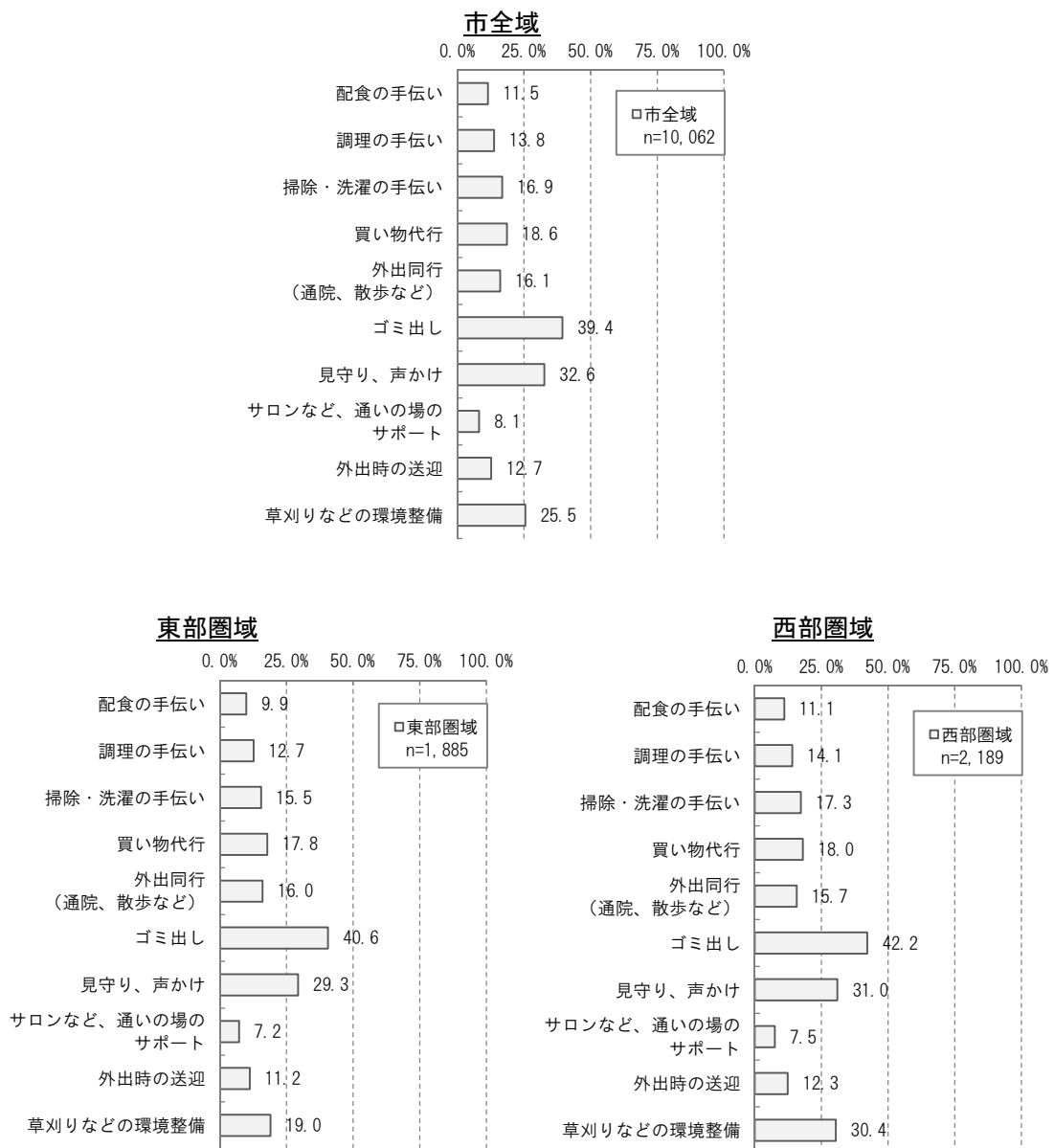
※問5(1) ①ボランティア、②スポーツ関係、③趣味関係、④学習・教養、⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会、⑦収入のある仕事で、「週4回以上」～「月1～3回」のいずれかに回答した割合、また、問5(3) 支援活動の企画・運営に「是非参加したい」「参加してもよい」に回答した割合です。

(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

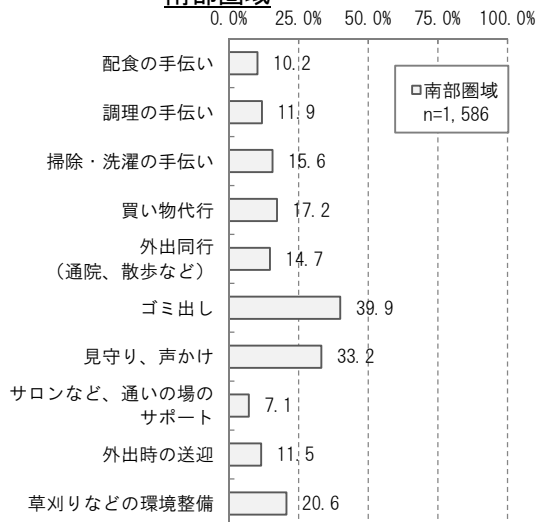
○住んでいる地域で支援できると回答したサービスをみると、全ての日常生活圏域で「ゴミ出し」が最も高く、次いで「見守り、声かけ」「草刈りなどの環境整備」となり、上位3位が突出する傾向にあります。

○市全域で上位5位を占めるサービスについて、これを上回る地区をみると、「ゴミ出し」では「東部圏域」、「見守り、声かけ」では「南部圏域」「北部圏域」、「草刈りなどの環境整備」では「西部圏域」「北部圏域」「長島圏域」「多度圏域」、「買い物代行」では「北部圏域」、「掃除・洗濯の手伝い」では「西部圏域」「北部圏域」「長島圏域」「多度圏域」が高くなっています。

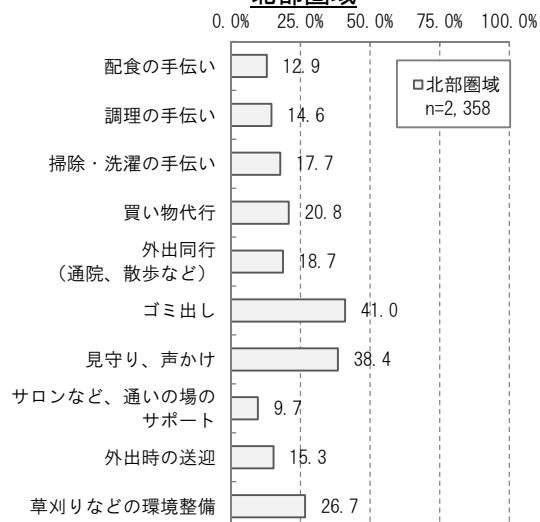
図 4.16 高齢者の地域支援意向



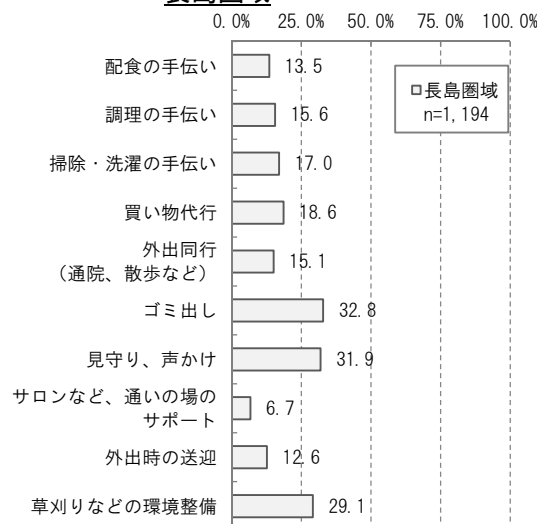
南部圏域



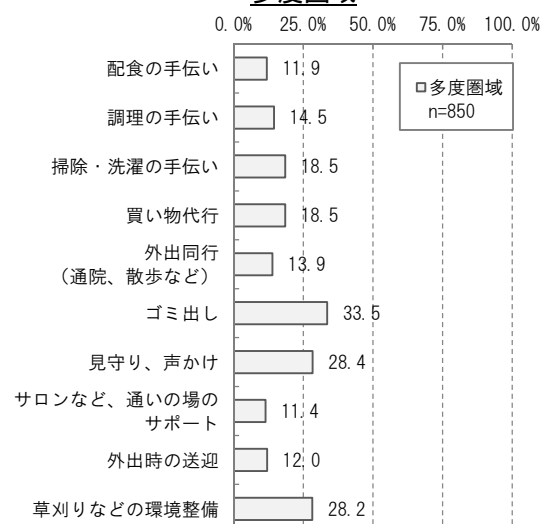
北部圏域



長島圏域



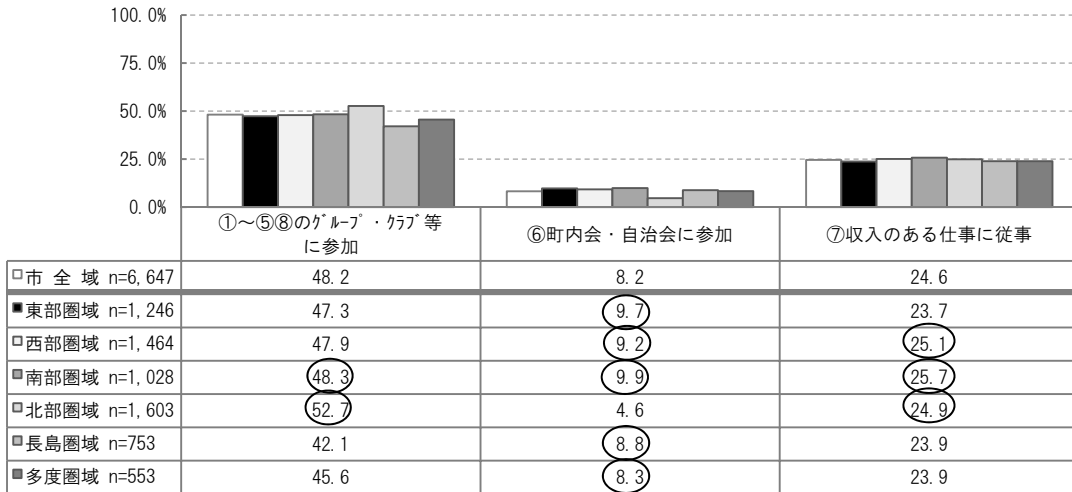
多度圏域



(3) 社会参加と生きがい

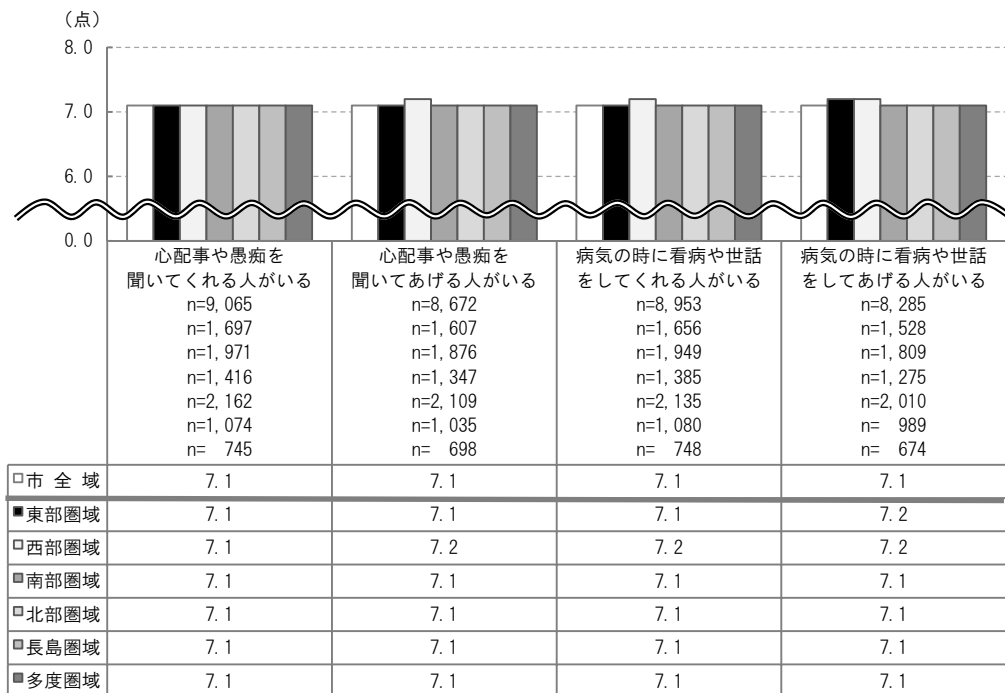
○参加している地域活動の種類別に生きがい感をみると、「北部圏域」「①～⑤のグループ・クラブ等」が、それ以外の区域では「①～⑤のグループ・クラブ等」が最も生きがいを感じていると回答しています。

図 4.17 地域活動参加者が生きがいを感じている割合



○たすけあいの状況別に平均幸福度をみると、「心配事や愚痴を聞いてあげる人がいる」「病気の時に看病や世話をしてくれる人がいる」は「西部圏域」が、「病気のときに看病や世話をしてくれる人がいる」は「東部圏域」「西部圏域」が加重平均7.2点となり、市全域を上回っています。

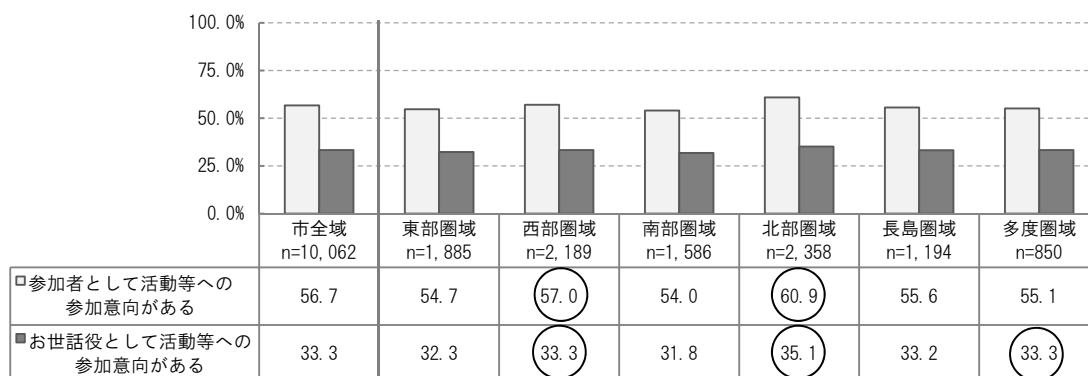
図 4.18 たすけあいの状況と平均幸福度



(注)上記の数値は加重平均点です。

○地域づくりに対する参加意向をみると、「西部圏域」「北部圏域」では「参加者として活動等への参加意向がある」、「お世話役として活動等への参加意向がある」で市全域を上回っています。

図 4.19 地域づくりに対する参加意向





## 4 健康行動指標の状況について

### (1) 高齢者の健康感や幸福感

#### ① 主観的健康感

○主観的健康感をみると、市全域では「まあよい」(66.8%)が最も高く、次いで「あまりよくない」(16.4%)、「とてもよい」(11.5%)となり、地区別でも同様の傾向となっています。

○また、主観的健康感で「あまりよくない」と「よくない」の合計の地域差を地区別にみると、「東部圏域」で市全域よりかなり高く、「西部」「北部」が低くなっています。

図 4.20 主観的健康感

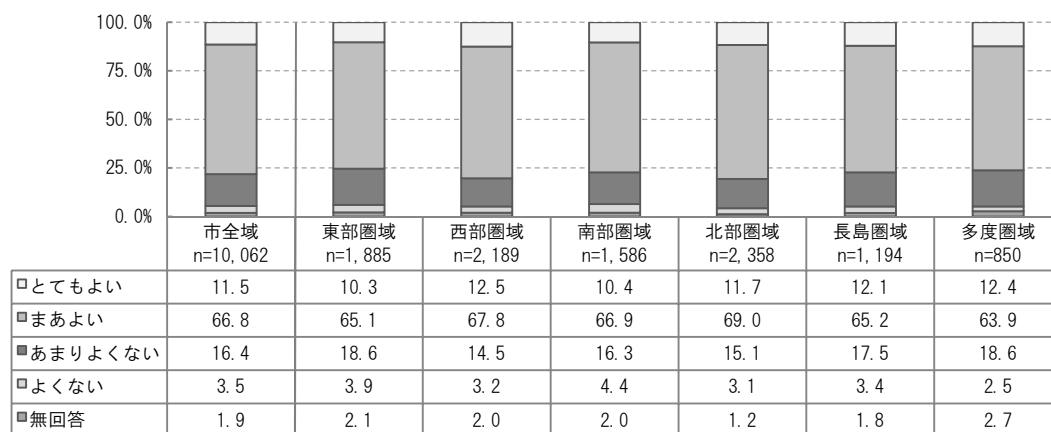
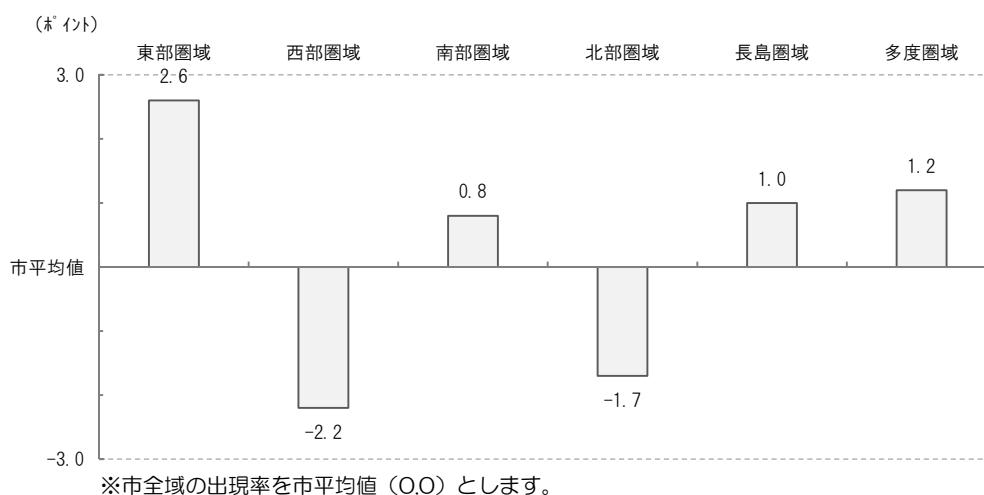


図 4.21 主観的健康感（「あまりよくない」＋「よくない」）の地域差



② 主観的幸福感

○主観的幸福感の平均点数をみると、市全域では7.0点となっています。

○地区別でみると、「西部圏域」(7.1点)のみわずかに高く、他の圏域は市全域と同等となっています。

図4.22 主観的幸福感（平均点数）

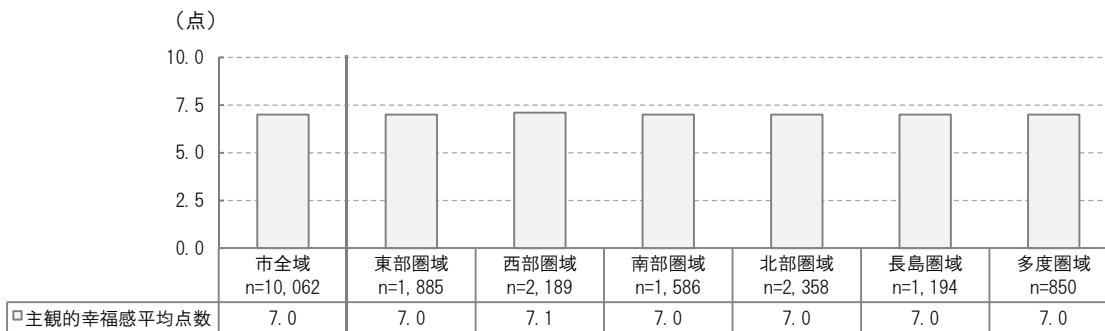
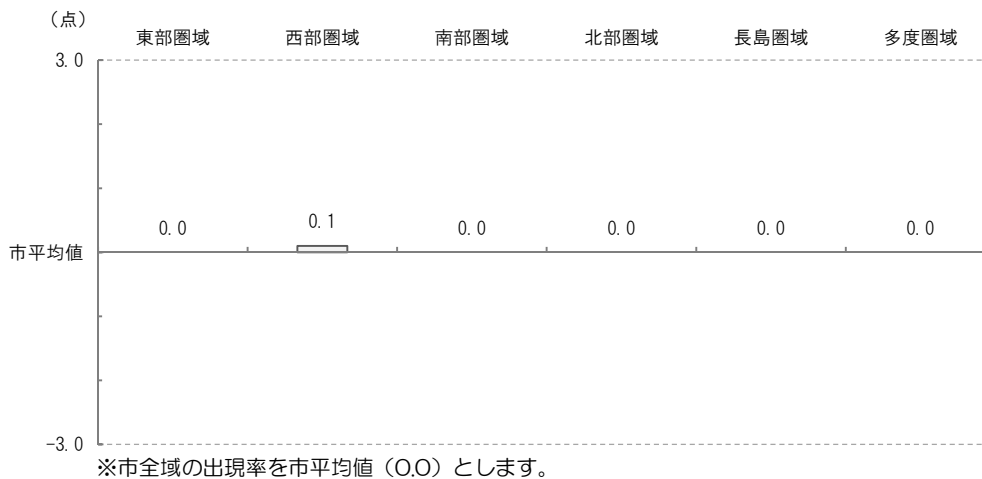


図 4.23 主観的幸福感の地域差



## 5 地域包括ケアシステムの認識等について

○地域包括支援センターの認識状況をみると、全ての圏域において3割強の認識率となっています。

○人生最後の場所の希望を市全域と比較すると、「自宅」は「西部圏域」「長島圏域」「多度圏域」、「自宅で過ごし、必要になれば医療機関」は「北部圏域」「長島圏域」、「医療機関」は「東部圏域」「北部圏域」、「施設」は「東部圏域」「長島圏域」の割合が市全域より高くなっています。

図 4.26 地域包括支援センターの認識状況

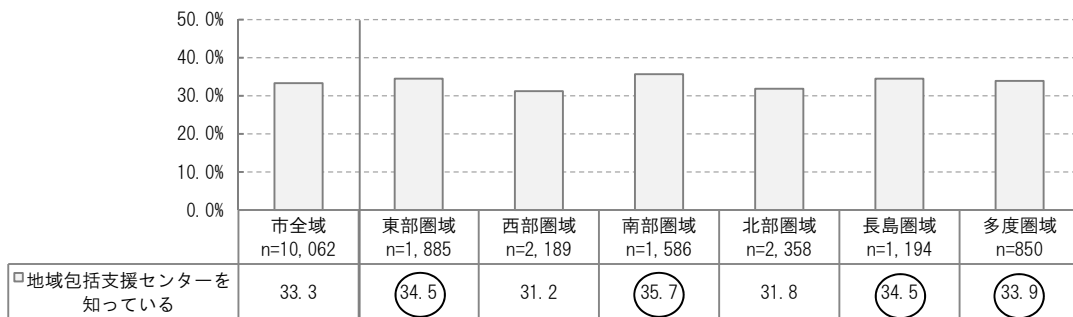
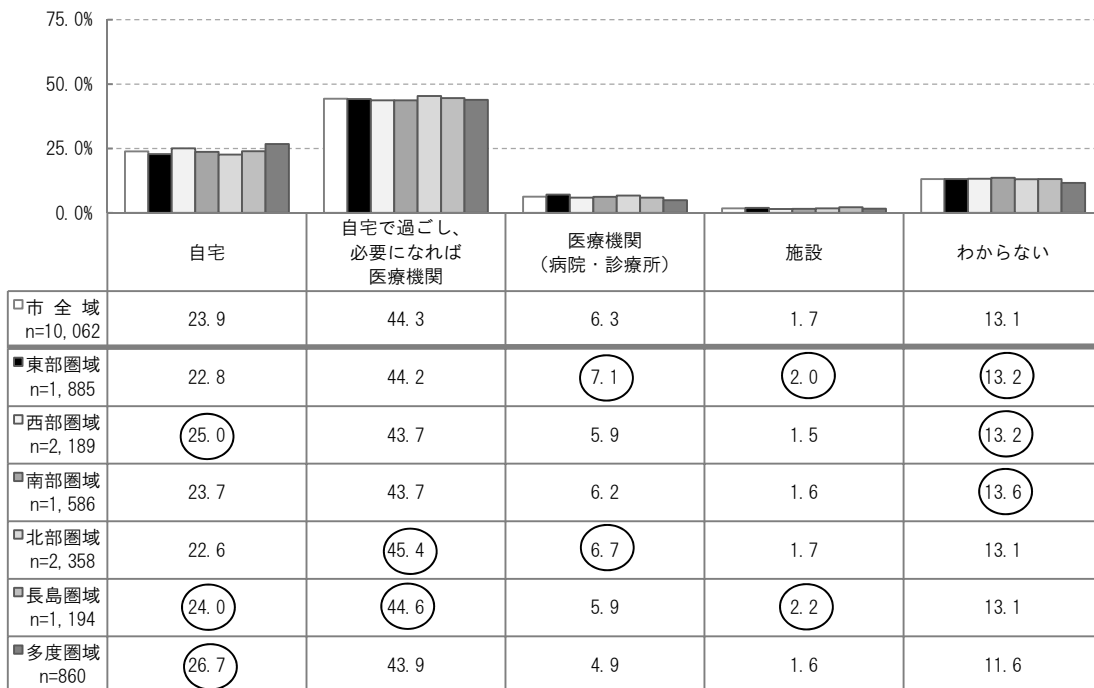


図 4.27 人生最後の場所の希望



○仕組みづくりの認識状況では、「できている+どちらかといえばできている」の割合が高い圏域は「長島圏域」「多度圏域」、「どちらかといえばできていない+できていない」の割合が高い圏域は「西部圏域」「北部圏域」となっています。

○場づくりの認識状況では、「できている+どちらかといえばできている」の割合が高い圏域は「長島圏域」「多度圏域」、「どちらかといえばできていない+できていない」の割合が高い圏域は「東部圏域」「北部圏域」となっています。

図 4.28 「仕組みづくり」の認識

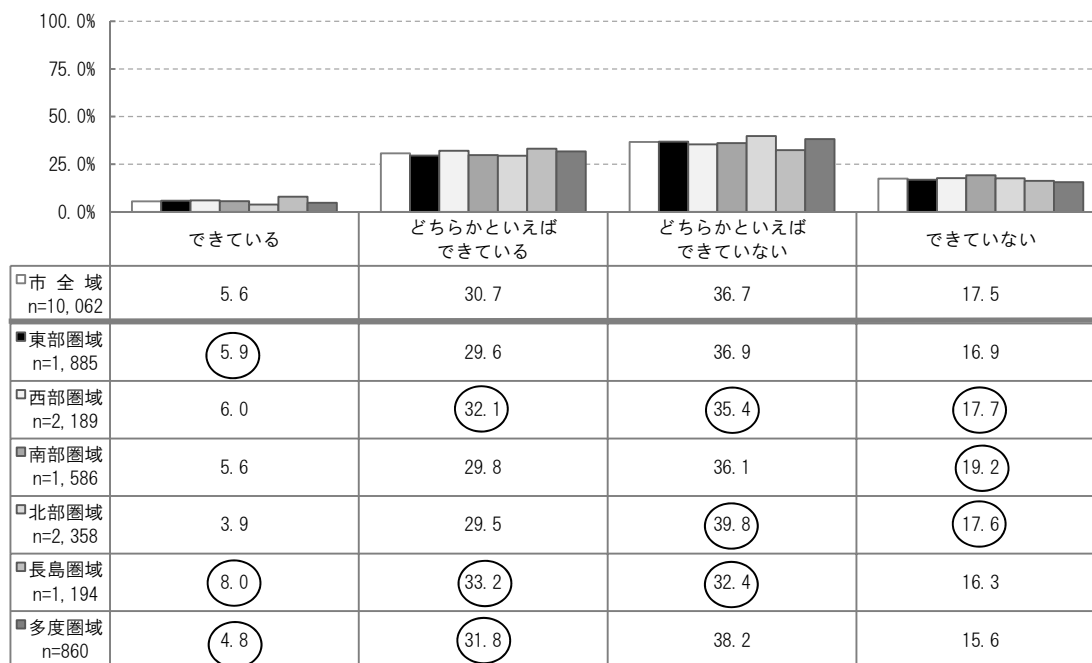
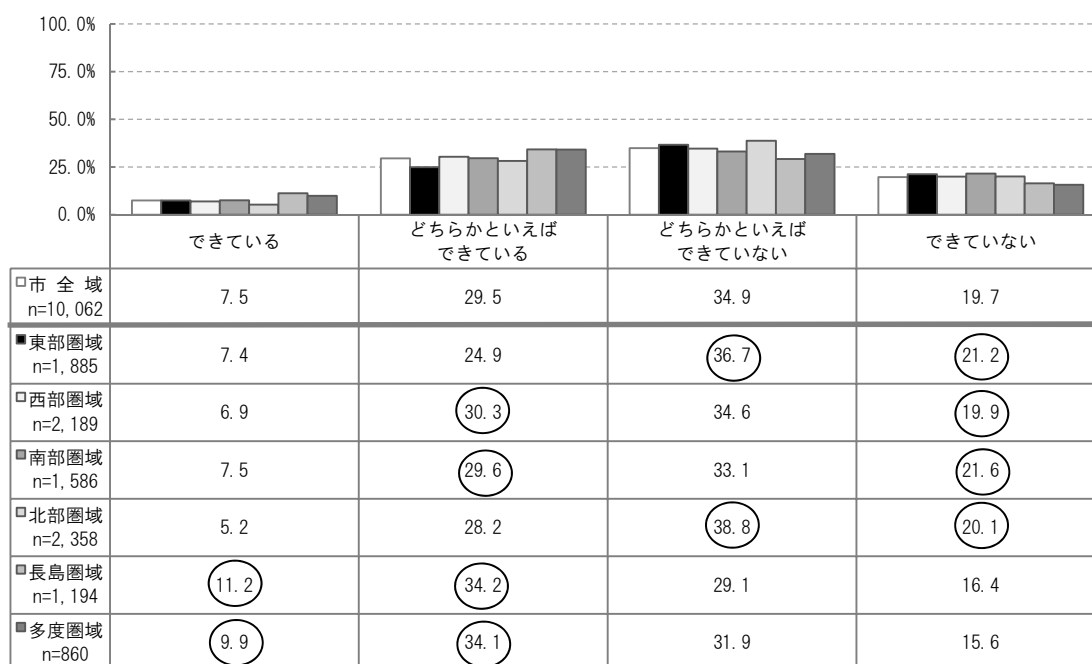


図 4.29 「場づくり」の認識



---

第4章 日常生活圏域別分析 .....	91
1 高齢者像の状況について .....	91
(1) 元気高齢者 .....	92
(2) 一般高齢者 .....	93
(3) 介護予防事業対象者 .....	94
(4) 生活支援事業対象者数 .....	95
(5) 認知機能レベルⅠ・Ⅱ該当者数の予測 .....	96
2 リスク指標（基本チェックリスト）の状況について ..	97
3 社会関係指標の状況について .....	99
(1) 地域活動への参加状況 .....	99
(2) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス） .....	101
(3) 社会参加と生きがい .....	103
4 健康行動指標の状況について .....	105
(1) 高齢者の健康感や幸福感 .....	105
① 主観的健康感 .....	105
② 主観的幸福感 .....	106
5 地域包括ケアシステムの認識等について .....	107